

みずほCustomer Desk Report 2023/06/14号 (As of 2023/06/13)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	139.70
TKY 9:00AM	139.47	1.0763	150.08	GBP/USD	1.2515
SYD-NY High	140.31	1.0823	151.37	AUD/USD	0.6753
SYD-NY Low	139.01	1.0757	150.08		
NY 5:00 PM	140.24	1.0793	151.28		
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	34,212.12	145.79	日本2年債	▲0.0800%	▲0.0100%
NASDAQ	13,573.32	111.40	日本10年債	0.4200%	▲0.0100%
S&P	4,369.01	30.08	米国2年債	4.6758%	0.0923%
日経平均	33,018.65	584.65	米国5年債	4.0005%	0.0998%
TOPIX	2,264.79	26.02	米国10年債	3.8250%	0.0826%
シカゴ日経先物	33,500.00	735.00	独10年債	2.4245%	0.0440%
ロンドンFT	7,594.78	24.09	英10年債	4.4260%	0.0930%
DAX	16,230.68	132.81	豪10年債	3.9110%	▲0.0400%
ハンセン指数	19,521.42	117.11	USDJPY 1M Vol	8.94%	0.24%
上海総合	3,233.67	4.84	USDJPY 3M Vol	8.95%	0.17%
NY金	1,958.60	▲ 11.10	USDJPY 6M Vol	9.17%	0.01%
WTI	69.42	2.30	USDJPY 1M 25RR	▲0.90%	Yen Call Over
CRB指数	260.81	3.87	EURJPY 3M Vol	8.32%	▲0.02%
ドルインデックス	103.34	▲ 0.32	EURJPY 6M Vol	8.81%	▲0.02%

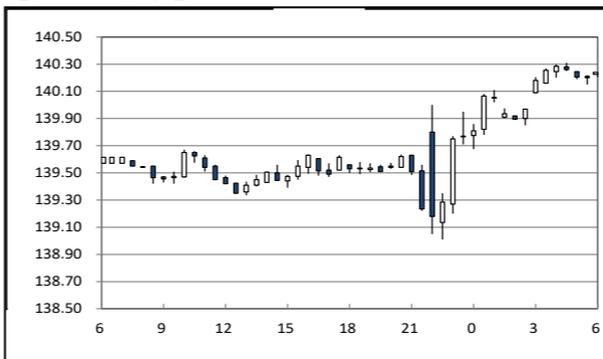
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
6月13日	15:00	独 CPI(前月比/前年比)・確報	5月 -0.1%/6.1%	-0.1%/6.1%
	18:00	独 ZEW景気期待指数	6月 -8.5	-13.5
	18:00	独 ZEW調査現状指数	6月 -56.5	-40.2
	21:30	米 CPI(前月比/前年比)	5月 0.1%/4.0%	0.1%/4.1%
	21:30	米 コアCPI(前月比/前年比)	5月 0.4%/5.3%	0.4%/5.2%

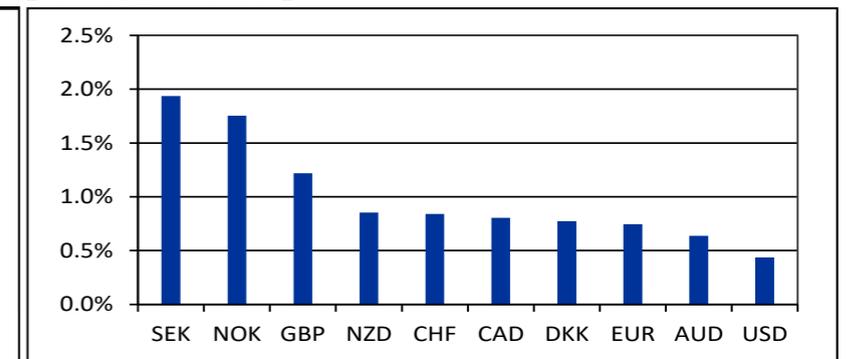
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
6月14日	15:00	英 鉱工業生産(前月比/前年比)	4月 -0.1%/-1.7%	0.7%/-2.0%
	21:30	米 PPI(前月比/前年比)	5月 -0.1%/1.5%	0.2%/2.3%
6月15日	03:00	米 FOMC 政策金利	14-Jun 5.00%-5.25%	5.00%-5.25%
	03:30	米パウエルFRB議長 会見	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	139.50-140.90	1.0730-1.0850	150.00-151.50

【マーケットインプレッション】

注目の米CPIは予想比弱かったものの、米10年債利回りが堅調推移となったことや株価も安定推移していることもありドル/円は139.00でサポートされた形となって140円台で海外は引けている。CPIが弱かったことは銀行破綻の悪影響も考えあわせるとFRBが今回利上げを見送ると推測するのに無理はない。しかし、それが休止なのか単なるスキップでその後再利上げがありうるのか、市場参加者はなかなか見極めがつかないということであろう。その点では明朝早い時間に明らかになってくるFOMCでのドットチャートにより注目が集まると思われる。チャートに変化がないようであれば7月も利上げは見送りと予想され、市場の関心はFRBが利下げに転じるタイミングへと移行することとなるが、チャートで当局者たちがより高い金利を許容することが示されれば利上げ局面の終焉はまだ、ということでドル/円もさらに上値を追うことになろう。

東京	東京市場は139.47レベルでオープン。仲値にかけて139.67まで上昇するも、米CPIを控え上値追いはならず、反落。その後、139円台前半では下げ渋り、午後に入ると33年ぶりに日経平均株価が3万3千円台を回復したこともあり、ドル円は139円台半ばまで値を戻し139.55レベルで海外時間へ渡った。
ロンドン	ドル円は小幅推移、ポンドは労働市場タイト化で買われる。ロンドン市場のドル円は、139.55レベルでオープン。午後に米5月CPIを控え、20銭以内という小幅で推移し、結局139.52レベルでNYに渡った。ポンドドルは、1.2556レベルでオープン。英4月失業率が予想を下回り、またボーナスを除く平均所得の伸びが予想を上回ったことを受け1.2576まで買われ、結局1.2573レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は139円台半ばでスタート。中国中銀が7日物リバースレポ金利とSLF金利の利下げを発表した事を受け、人民元が対ドルで下落する中、日本株の一段高もサポートとなり、139円台半ばでの底堅い推移が続く。その後、米経済指標発表待ちムードが強くなり、139.52レベルでNYオープン。朝方に発表された米5月コアCPI(前月比)は引き続き高い伸びとなったが、ヘッドライン共に予想と一致した事から、7月の利上げ期待が後退し、139.01まで売られる。売り一巡後、米経済紙記者が「5月のCPI結果を受け、超短期的な見通しが変わらず、明日は据え置きが予想されるが、四半期毎の見直しにはもう1回の利上げがベースシナリオになる」と報じた事から、米金利が反転上昇した事を背景に、買戻しの展開となり、140円台まで値を戻す。午後は米主要株式市場が軒並みに堅調な展開が支えとなり、高値の140.31まで上昇する。その後、明日米6月FOMCを控え様子見ムードとなり、140.24レベルでクロス。一方、海外市場のユーロドルは1.07台半ばでスタート。FOMCを明日に控えドル売り優勢となり、1.07台後半まで上昇する。その後、独6月ZEW景気期待指数も予想より良好な内容を受け続伸し、1.08台を回復。その後小幅反落し、1.0794レベルでNYオープン。朝方は先述の米経済指標の結果を受け、1.0823まで上昇するも、その後ドルが買い戻され、1.08台を再び割り込み、1.0778まで反落する。午後は1.0790付近で揉み合いとなり、1.0793レベルでクロス。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 加藤・西